

# 長きにわたる「ご厚誼」に感謝します！

NPO法人森林遊びサポートセンター  
札幌森友会 代表 小林 文男

## はじめに

北海道胆振東部に、昨年(2018年)9月6日未明の震度7に続き昨夜(2019年)2月21日21時22分に震度6弱の地震が発生しました。震源地域の皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、1991年の新春に、森を愛し、森に親しむ同志十数人が集い「札幌森友会」をつくらうか！「ソダネ、ソダネ」で発足しました。それから12年経って、2003年にNPO法人として認証を受けようか！「ソダネ、ソダネ」でなことで、森づくりや多様な活動を続けているうちに、アツという間に28年の歳月が経ちました。

この間の活動延回数1758回に及び、これも会員一同「ソダネ、ソダネ」の協力と、行政機関、諸団体のみなさまからのご指導とご支援をいただき、また、旅行会社、バス会社等には大変お世話になりました。心からお礼を申し上げます。

## 1 これまでの歩み

- 1 設立経緯と活動主旨
- 1 平成3年4月1日 札幌森友会 発足
- 人々とほんもの自然に親しみ、豊かな心と健康

## 会員各位

理事 拡大委員会世話人 高橋 喜三雄

NPO法人森林遊びサポートセンターの解散の提議並びに新任意団体への入会の呼掛け

当NPO法人は平成15年発足から15年が経過しております。その母体となった「札幌森友会」は平成3年にスタート、その間を加算すると通算28年間活動してきました。最盛期には会員数400名を数え、その活動行事は登山・森林ボランティア等多岐、多数に亘りましたが、その間、当初より現小林会長がリーダーとして組織を引っ張ってこられました。

会長は各行事について、その立案計画・下見・手配連絡等全てについて一人で行い、またNPO法人に関わる各種申請、届出、決算等諸手続きについても同様でした。しかし会長も現在85歳になられ、昨年末には運転免許も返上しております。本年春会長より、この様な状況で会長を続投することは困難であり、平成31年以降については自分を除く会員で、この会をどうするか決めて欲しいとの意向が出され、それ以後、理事他拡大委員会のメンバーで検討を重ねてきました。

検討会のメンバーの多くからは、「会員の高齢化と会員数の減少等を踏まえると、現状を維持する為、誰かが小林会長の後を継いでも組織として早晚立ち行かなくなる」との判断がなされ、それを踏まえNPO法人を解散し、新たな団体で再スタートすることになりました。新たな団体の体制・行事等の内容については、概略下記の通りです。是非、現会員の皆様には新たな団体に入会されますようお願い申し上げます。

な身体をつくり、心身の健康を図ることを目的とした活動を延べ回数744回行いました。

- (2) 平成15年5月13日 特定非営利活動法人 森林遊びサポートセンターの認証を受ける。
- 地域のみなさんと植樹や育樹のボランティアと、森遊びを取り込みながらの自然ふれあい活動を行う。また、子供たちの森林環境教育として、学校の植林から下刈りと、森林・林業の器具を使つての多様な森遊び等の体験を指導する活動を延べ回数1014回行いました。

## 2 登山・自然ふれあいの歩み

この会の発足の頃はアウトドアの始まりでもあり、小グループでワゴン車に相乗りで出かけ、登山や湖沼等自然ふれあいを楽しんでおりました。しかし、次第にアウトドアも多様化し、参加する人も多面にわたり急増しました。

## 3 森づくりの歩み

当会では平成6年に国有林野事業と「よみがえった森・記念植樹」の協定を結び、植樹から下刈り等のボランティアの森づくり活動を始めました。

の背景もあり、盛んに協働の取り組みが進められるようになった。当会は率先して行政機関や諸企業、諸団体と協働し、活動の継続安定と作業の安全に努めてきました。

## 4 森林環境教育

北海道では平成17年度から、もりの学校推進事業「げんきの森」づくりがスタートしました。これは、子供たちが体験活動や自由遊びが出来る森林「げんきの森」を5年かけて全市町村に設定し活動の場とするもので、札幌市では市立藤の沢小学校を対象にして藤野「小鳥の村」につくることになった。

## 5 活動のよろこびを共有する

私どもの自然環境保全等の活動に対して環境大臣等各機関からご褒美を賜りました。

## II これからに向けて

当会としても会員の高齢化や減少の中で、体制の改善や活動範囲の縮小等に向けて「組織体制改革委員会」を立ち上げ一年間協議をかさね、高橋喜三雄氏を後継代表とし、31年活動から新体制で取り組むことになった。

## ☆NPO法人の解散 定款第37条(解散) (会員50名×3分の2=33人)

この法人は、総会の議決による解散するときは、総会において会員総数の3分の2以上の承諾を得て、解散することができる。 ※会員全員の意向調査結果を引用する

参考 意向調査から(2019年1月18日まとめ)

区分	NPO解散賛成	反対	理事一任	応答なし等
全会員あて意向調査	22	0	19	9

参考 メモ

1 任意抽出 年度別会員構成表 単位:人

区分	平成3	6	9	12	15	18	21	24	30
男性	28	69	91	102	62	48	50	38	22
女性	59	189	239	295	111	78	64	51	28
計	87	258	330	397	173	126	114	89	50

2 任意抽出 年度別参加延べ人数表 単位:人

区分	平成3	6	9	12	15	18	21	24	30
男性	99	696	856	779	607	676	685	526	208
女性	145	1314	1880	1608	958	678	693	670	158
子ども							276	574	420
計	244	2010	2736	2387	1565	1354	1654	1770	786

3 任意抽出 年度別活動回数表 単位:人

区分	平成3	6	9	12	15	18	21	24	30
冬季		14	19	22	16	23	20	21	5
夏季	11	84	65	53	46	49	54	57	30
計	11	98	84	75	62	72	74	78	35

4 男女・子ども別参加延べ人数

区分	冬季参加人数			夏季参加人数		
	男性	女性	計	男性	女性	計
平成3~30	3099	3907	7006	13256	22027	35283
子ども			336			3512

## 数字を読む 数字が語る 28年の足あと

「かいちよう日記」で振り返る会の歩み 熱い思い 心揺さぶる